

平成 25 年 第 1 回日本細菌学会関東支部総会評議員会議事録

(平成 25 年 5 月 9 日 (木) 16:30～ 東京ガーデンパレスにて開催)

1) 第 96 回日本細菌学会関東支部総会(2013 年度)の準備状況

2013 年度日本細菌学会関東支部総会の準備状況について支部総会会長の関水先生より報告があった(下述)。

会場は東京ドームホテル 42F シリウスにて開催する。日本感染症学会東日本地方会学術集会・日本化学療法学会東日本支部総会/合同学会との同時期・同場所開催の形式となる。参加費は一般会員で 5000 円、懇親会費 2000 円とする。内容として、一般演題はすべて口頭発表とし、合同シンポジウムと招請講演(細菌学会)を企画している。

上記のことが了承された。ただ、開催期間に関しては、今後合同学会側と調整することとなった。合同学会の開催は 10 月 30 日(水)・31 日(木)・11 月 1 日(金)であり、主たる発表は 31 日(木)・11 月 1 日(金)である。この中で、細菌学会関東支部総会の開催時期・様式について議論された。また、開催費用についても議論された(日本細菌学会関東支部からの支部総会への支出は 70 万円)。

また、今回の支部総会を認定薬剤師制度の公認とするため日程が固まり次第書類を提出するとの事であった。参加者を増加させる手段として有効と思われ、積極的に推進することとなった。

2) 第 97 回日本細菌学会関東支部総会(2014 年度)の総会長について

本来は第 95 回日本細菌学会関東支部総会(2012 年度)での評議員会および支部総会で決定する予定であったが、調整ができなかった。今回の評議員会で討議され、千葉大真菌学センター病原機能分野教授 川本 進先生に内定した。正式には第 96 回日本細菌学会関東支部総会(2013 年度)で最終的に決定される予定である。2014 年度の日本感染症学会東日本地方会学術集会・日本化学療法学会東日本支部総会/合同学会は東京で行われる予定であり、関東支部総会(2014 年度)は合同学会と同時期・同場所開催について話し合われるとの見通しである。さらに、第 98 回日本細菌学会関東支部総会(2015 年度)の総会長についても相談が行われた。

3) インターラボセミナーについて

2012 年度には支部会長の不手際で開催されなかった。今後の開催について話し合われた。積極的に開催することが合意された。ただし、今後は従来のみで行うか、より大規模で行うかなど開催様式は評議員である高屋明子先生(千葉大・薬)とインターラボセミナーに積極的に関わって来られた松本靖彦先生とで相談して頂くこととなった。とりあえず、インターラボセミナーの募集を行うこととした。

また、インターラボセミナーは関東支部の独自の活動であり、参加者を増加させる広報

について考えることとなった（支部総会での報告はされている）。神谷茂先生（支部評議員、日本細菌学会理事長）からは他の支部会員にも広く知ってもらうために写真等を入れて、報告書形式で細菌学雑誌に掲載したらどうかとの提案がなされた。

4) 他支部会の動向

神谷茂先生から日本細菌学会総会時の支部会長会議の概要報告があった：北海道支部では支部総会長を 2 名にし、役割を分担したためスムーズに進行できた。東北支部では支部会誌を 3 年に 1 回発行している（費用は、30～40 万円）。中部支部では支部会 50 回記念を検討している。関西支部では若手を中心に会員数を増やす努力をしている。中国・四国支部では支部会賞（学生のみ）と若手研究奨励賞を授与している。九州支部では支部総会を沖縄で開催予定であったが、直前で台風により中止となった（抄録をもって開催とした）。